別表 1 記入例

棟数が解体予定建築物の棟数と一致していること (カーポート等も一棟)

分別解体等の計画等

建築物に係る解体工事

建築物の構造				✓木造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □鉄筋コンクリート造□鉄骨造 □コンクリートブロック造 □その他()						
建築物に関 する調査の 結果		建築物	の状況	□ い 目 垣 □ □ □ □ ▽ ク り			周辺状況及び敷地境界との最短距離を記入			
		周辺状況 周辺状況 敷地域		□病院	こある施設 ☑住宅 □商業施設 □学校 完 □その他() 竟界との最短距離 約 <u>3.5</u> m)	作業場所・搬出 いて、敷地内で ときは措置の内	:不十分:
建築物に関 する調査の 結果及び工 事着手前に 実施する措		作業	場所	作業場所	听 □十分	関する調査の ☑不十分	の結果)	工事着手前に 隣地使用の承 済	実する措置の内 経済、道路使用	
		搬出経路		通学路	路の幅員 約 □有 ▽ 無		障害物がある場 面道路幅員が狭		整理員配備 残存物品がある。 その措置方法を記	
	の内容			その他 (対策を記入				工事着手までに施主にて搬出		
【 石綿関係の 記載】 特定建設資材 に付着してい る場合 特定建設資材 に付場合 特に対場合 本い場合		特定建 設資材 への付 着物	石綿	☑無	✓ 吹付け石絹□ 石綿含有断□ 石綿含有スレ※石綿「無」とし□ H18.9.1 以□ 書面調査を	熱材・保温材・耐 :形板、石綿含有 t · 一トボード、 7 た根拠 に工事着手 t ・併せた目視調	ジニル床タイル、 石綿含有仕上塗材等 した建築物等	● 石綿事前調査 ☑報告済み (注記 必ずどけ 施内容 工者に分析 ていただく場合か	hill des	
			その他	☑無	□ 石綿含有断☑ 石綿含有成	熱材·保温材·耐 形板、石綿含有 6) けロックウール等 火被覆材等 ごニル床タイル、 5編含有仕上塗材等		び 绵予防規則に関する □届出予定 □不要	
		その他	フロンその他	□無	※石綿「無」とし □ H18.9.1 以 □ 書面調査を □ 書面調査を	た根拠 降に工事着手 l 併せた目視調2 併せた目視調2	ンた建築物等 査 査及び分析調査	大防法は作前までに届	業開始の2週間 出が必要	
				☑無	務用のエアコン・冷凍? □有(や	類が使われているもの))	- -		
		工.	程	<u>- ////</u>		作業内	 容	分別	解体等の方法	
工程	①建築設	備・内装材			建築設備・ ☑有 □無	内装材等の取		☑ 手作業	機械作業の併用)
び解体方法ごとの作業内で	②屋根ふ				屋根ふき材 ☑有 □無			☑ 手作業 □ 手作業・ 併用の場合の	機械作業の併用 D理由()
方業内		上部構造	音部分 		外装材・上部構造部分の取り壊し ☑有 □無 基礎・基礎ぐいの取り壊し				機械作業の併用	
容	④基礎・⑤その他	(1	列) 外構等]	基礎・基礎 ☑有 □無 その他の取			□ 手作業☑ 手作業・□ 手作業	機械作業の併用	
	(□有 ☑無		$0 \rightarrow 0 \rightarrow 0 \rightarrow 0$	□ 手作業・	機械作業の併用	
工事の工程の順序					□その他()					
☑内装材に木材が含まれる場合					✓可 □不可不可の場合の理由 (村の重の	D見込みを記載 特定建設資材の量の <u>はり多い</u> ことに注意	
選 見込量 見込量生	特定建設の量の場	に用いられた建設資材の量の見込み 特定建設資材廃棄物の種類ごと の量の見込み及びその発生が見 込まれる建築物の部分				4 類 「一ト塊 ロンカリート塊 巨木材	量の見込み 2 トン トン		2) □3 □4 □ 2) ∠ 3 □4 □	(5) (5) (5)
/ f-Ha . 1-	(注)①建築設備・内装材等 ②屋				•			基礎・基礎ぐ	ハ ⑤その他	
(備考 	(備考)予定している再資源化処理施設のコンクリート塊:(名称) アスファルト・コンクリート塊:(名称)					再生施設				
		木材	: (名称))		▶再生処理は	-			

記入例

分別解体等の計画等

	使用する特定建設				□コンクリート ☑コンクリート及び鉄から成る建設資材					
資材の種類				□アスファルト・コンクリート □木材築年数 年、棟数 棟						
建筑	等物に関			築年数年、棟数棟 その他()						
	調査の			周辺にある施設 □住宅 □商業施設 □学校						
結果					☑その他(<mark>河川</mark>) 界との最短距離 約 10 m					
					也 ()					
7-11. 6-5-	도바스) = BB			建築物に関する調査の結果 工事着手前に実施する措置の内容						
■ 建築物に関 ■ する調査の		作業場	場所	作業場所 □十分 ☑ 不十分 場内にて一部解体し作業場を確保す る						
	現立の				障害物 □有()					
	手前に			前面道路の幅員 約 <u>4.5</u> m						
	でする措	搬出経路		通学路 □有 <mark>☑</mark> 無						
置	の内容			その他 ()				4	3 0	+
	綿関係の	特定建設 資材への 付着物 (修繕・模様 替工事のみ)	石綿	□有	□ 吹付け石綿、石綿含有吹付け □ 石綿含有断熱材・保温材・耐火	被覆材等	-	帛事前調査報告(ト済み □報告	⊿G ビス,□書 予定 □不勢	
記載				☑ 無	□ 石綿含有成形板、石綿含有ビニ 石綿含有スレートボード、石綿					
	建設資材				※石綿「無」とした根拠□ H18.9.1 以降に工事着手した	(注記) 石綿事前調査に係る分析調査等の実施内容に関し、環境部局より元請業者または自主施工者に分析結果等の文書を確認させていただく場合があります。			きたは	
<u>る</u> 場	け着 <u>してい</u> 合 ■▶				□ 書面調査を併せた目視調査				からだ	
				☑無						
性完	建設資材	その他 (修繕・模様 替工事のみ)	石綿 他 模様 フロン	- M	□ 吹付け石綿、石綿含有吹付け			5法届出及び 5安法・石綿予防♯	測に関する	届出
に付	着 <u>してい</u>			☑有	□ 石綿含有断熱材・保温材・耐火被覆材等 ☑ 石綿含有成形板、石綿含有ビニル床タイル、			□届出済み □届出予定 ☑不要		
ない	場合				石綿含有スレートボード、石綿含有仕上塗材等					,
					※石綿「無」とした根拠□ H18.9.1 以降に工事着手した建築物等			届出についても記入 (石綿無しの場合も不要に ▽)		
				□無	□ 書面調査を併せた目視調査 □ 書面調査を併せた目視調査及び分析調査					_
				□有 (業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうちフロン類が使われているもの) ☑無						
		I.	その他 程	☑無	□有(<u>)</u> 作業は	<u> </u>			
	① 造成等				<u></u> 造成等の工事 ☑ 有	<u> </u>	1 4			
工程					基礎・基礎ぐいの工事 ☑有 □無					
程ごと					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
\mathcal{O}		構造部分	* 外装		上部構造部分・外装の工事 ☑有 □無					
作業	④ 屋根				屋根の工事 ☑有 □無					
作業内容		設備・内	装等		建築設備・内装等の工事 ☑有 □無					
	⑥その化	<u>µ</u>)	その他の工事 □有 →	☑無				
		2資材廃棄			74	P · ·	- I	使用する部分		見
廃棄物	の量の見	見込み並て 目される気	びに特定	建設資	種類量の見込		込まれる部分(注)			
	び特定類	L 設資材層	を棄物の		☑コンクリート塊	2	トン	☑ ① ☑ ② □⑤ □⑥]4)
発生	見込まれ	る建築物の部分			□アスファルト・コンクリート塊]4)
見					✓建設発生木材		トン		2 3 2	4
見込量							トン	∠ 5 □6	<u>*</u> <u>*</u>	<u>., 4</u>)
	<u> </u>	①造成等				単築設備・内装等 ・ ハント	等 ⑥-	その他		
(/備考	-	ている冉 リート塊			没の名称の記入をお願い ●●再生施場	いします。				
		ソート例いコンクリート切			一 一件工作场			-		
	7 - 7 / 7 1		t:(名称		□□クリーンセンタ	<u>!-</u>		_		

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

111111111111111111111111111111111111111				☑鉄筋	コンクリート造 □その他()					
<u> </u>					□新築工事 □維持・修繕工事 ☑ 解体工事					
					☑電気 □水道 □ガス □下水道 □鉄道 □電話 □その他()					
							から成る建設資材	,		
					ファルト・コンク		•			
T 1/5	→#/) -> 日日	工作物の状況			築年数 <u>30</u> 年 その他()					
	三物に関 調査の			周辺にある施設 ☑住宅 □商業施設 □学校						
	結果	周辺状況		□病院 □その他() 敷地境界との最短距離 約 15 m						
'	TID //			その他()						
工作	物に関			工作物に関する調査の結果 工事着手前に実施する措置の内容						
する	調査の	作業場所		作業場			済、道路使用許可			
	是及び工	搬出経路		その他(現道上における工事) 済 障害物 □有() ☑無 前面道路の幅員 約 6 m						
	手前に									
	でする措			通学路 □有 ☑無						
	の内容 綿関係の			その他	•	We are the state of the state o	14 (Da) 3 D 1 T			
記載					□ 吹付け石綿、石綿部□ 石綿含有断熱材・保	含有吹付けロックウール 温材・耐火被覆材等		号告 (☑G ビズ,□書面)]報告予定 □不要		
Att do		特定建設	石綿	□有	□ 石綿含有成形板、石綿含有ビニル床タイル、		,,,,,,			
	建設資材 着 <u>してい</u>	資材への 付着物			石綿含有スレートボ ※石綿「無」とした根拠	ード、石綿含有仕上塗材	(住記) 4 精爭則酮	査に係る分析調査等の実		
<u>る</u> 場	合 →	(解体・維持・ 修繕工事の み)		☑無	□ H18.9.1 以降に工			施内容に関し、環境部局より元請業者または 自主施工者に分析結果等の文書を確認させて いただく場合があります。		
					□ 書面調査を併せた ☑ 書面調査を併せた	目視調査 目視調査及び分析調査	いただく場合があり			
性定	建設資材		その他	☑無 □有()			 ●大防法届出及び	ť		
に付	着してい				□ 吹付け石綿、石綿部□ 石綿含有断熱材・保	含有吹付けロックウール 温材・耐火被覆材等		予防規則に関する届出		
ない	場合→		石綿	□有	□ 石綿含有成形板、石	綿含有ビニル床タイル、		届出予定 ☑不要		
		その他 ^{(解体・維持・}			石綿含有スレートボ ※石綿「無」とした根拠	ード、石綿含有仕上塗材	_			
		修繕工事の み)		☑無	□ H18.9.1 以降に工		届出についても (石綿無しのり	ら記へ 場合も不要に☑)		
					□ 書面調査を併せた☑ 書面調査を併せた	目視調査 目視調査及び分析調査	<u> </u>			
			その他	☑無	□有()				
工程ご		エ	程			人 内 容	(解体	体等の方法 工事のみ)		
<u>ک</u>	① 仮設	L.			仮設工事 ☑有	□ 手作業 ☑ 手作業・デ	機械作業の併用			
(T)	② ±I	-			土工事 ☑有	□ 手作業				
業	③ 基礎	<u> </u>			基礎工事 ☑有 □無		✓ 手作乗・/ □ 手作業	機械作業の併用		
内宏							機械作業の併用			
の作業内容及び解体方法		構造			本体構造の工事			機械作業の併用		
解体		付属品			本体付属品の工			機械作業の併用		
方法	⑥ その)他 ● 工事)		その他の工事	☑有 □無	□ 手作業	極量化業の併用		
12	-				 □上の工程にお	ける⑤→④→③0		機械作業の併用		
工事の工程の順序 (解体工事のみ)					☑ そ の 他 (⑥→⑤→④→③))					
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)					その他の場合の	り埋田 (● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●)工事のため トン)		
廃		- 建設 質材 リリ 発棄物の種類ごと			重 類	量の見込み				
棄	びに特定建設	資材が使用され	る工作物の部分	う(新築・維	☑コンクリートは	息 2 トン		∠ 4 □5 □6		
込量 生	持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込 まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)				✓ アスファルト・コンクリート✓ 建設発生木材			☑ ④ ☑ ⑤ □⑥ □④ □④ □④ □⑤ ☑ ⑥		
生見					✔ 建設光生不材 本体構造 ⑤ 本体付	 トン 属品 ⑥その他		<u>∟⊕ ⊔⊍ ⊻®</u>		
(備考)予定している再資源化処理施設の名称の記入をお願いします。										
		リート塊			●●セン					
アスファルト・コンクリート塊:(名称)					●●センター					
		木材	: (名称)	_	<u>□□クリ-</u>	<u>-ンセンター</u>				